

Service News サービス・ニュース

どなたでもお持ち込みのパソコンやタブレットで「OECD iLibrary」をご利用できます！**公立図書館初！**

2015年2月28日まで

今年、日本がOECD(経済協力開発機構・本部パリ)に加盟してから50年。当館では、OECD東京センターの協力により、「OECD iLibrary」(フルデータ)を無料でご利用いただけます。ログイン不要でどなたでもデータの閲覧と保存が可能です。



Q. 利用方法は？
お持ちのパソコンやタブレットを使って、館内のLAN(無線、有線)からOECD iLibraryのサイトにアクセスしてください。
ライブラリーアドレス ▶ <http://www.oecd-ilibrary.org/>

Q. 何が見られますか？
国際的なマクロ経済動向、学習到達度調査(PISA)、幸福度の国際比較など、幅広い調査結果やデータを見ることができます。さらに、OECDの姉妹機関(国際エネルギー機関IEA、原子力機関NEA、国際運輸フォーラムITF)の報告書も閲覧できます。主に英語、フランス語ですが、日本語の資料もございます。※館内でのプリントアウトはできません。

4月1日からオンライン・データベースが変わります Westlaw Japan が新たにご利用できます

都内公立図書館初！

法令や判例、書籍・雑誌・文献情報など多様な法律情報を調べることができるデータベースです。



ジャパンナレッジが館内貸出用iPadでも！

2階データベース席、またはiPadでのご利用のどちらかをお選びください。※4月1日以降、JRS経営情報サービス、Lexis AS ONEはご利用できなくなります。

わたしの一冊

◆おすすめする人
図書フロアスタッフ
佐々木由紀子

◆当館スタッフの推薦本を紹介いたします。

『あのとときわたしが着ていた服』
アイリーン・ベッカーマン著

過ぎ去った遠い日々のできごとと一緒に思い出すのは、当時着ていた洋服たち。幼少時の制服に始まり、淡々と綴られる思い出は決して楽しいことばかりではありません。それでも、お気に入りの一着に勇氣や自信をもらいながら自分で人生を選んでいく著者の姿は、「着ること」と「生きること」との深いつながりについて考えさせられます。

飛鳥新社 1997年

ファッションの変遷を追うだけでなく、ひとりの女性の個人史としても読むことができます。エッセイの光野桃さんによる解説付き。

Love, Loss, and What I Wore
あのとときわたしが着ていた服
written and illustrated by Iris Apfel

2F ホール (4月中旬まで)

千代田図書館企画展示 巡回展 「週刊読書人」の紙面でたどる記憶に残る本と時代

読書家に愛されてきた書評紙『週刊読書人』。創刊の1958年から現在までを10年ごとに区切り、紙面に大きく取り上げられた本を中心に展示しています。当館での巡回展のために明石健五編集長が選んだ哲学、社会科学などの分野に加え、各年代に流行した音楽や演劇、美術などアート本などもご紹介。本の思い出とともに、時代の空気を感じてください。

記憶に残る本 & 出来事

あの時代、どんなふうにご覧になっていましたか？
ニュースと本とを比べてみるのも楽しい展示の見方です。

	時代の本	象徴的な出来事
創刊 ~1960年代	大江健三郎著 『万延元年のフットボール』 (講談社 1967)	カラーテレビの本放送開始(1960) アポロ11号人類初月面着陸(1969)
1970年代	村上龍著 『限りなく透明に近いブルー』 (講談社 1976)	三島由紀夫の割腹自殺(1970) ロッキード事件(1976)
1980年代	村上春樹著 『ノルウェイの森 上・下』 (講談社 1987)	グリコ・森永事件(1984) チェルノブイリ原発で事故発生(1986)
1990年代	ヨースタイン・ゴルデル著 『ソフィーの世界』 (日本放送出版協会 1995)	阪神・淡路大震災(1995) 地下鉄サリン事件(1995)
2000年代	J・K・ローリング著 『ハリー・ポッター』シリーズ (静山社 1999)	9.11アメリカ同時多発テロ(2001) リーマンショック(2008)
2010年 ~現在	三浦しをん著 『舟を編む』 (光文社 2011)	東日本大震災、福島第一原発事故(2011) 2020年夏季オリンピック東京開催決定(2013)

※この展示は2013年11/25~1/25まで千代田図書館で行われていた展示の巡回展です。

4 Exhibit Information 月の展示情報

※展示内容は変更する場合がございます。

- 2F オレンジゾーン** 「広告が時代を変える」NEW!
インターネットの登場により大きく変化した「広告」の世界。江戸時代の引き札に始まり、現在までの移り変わりを紹介します。
■「UPDATE-ビジネスや仕事に役立つ時事ネタ欄-」
■常設展示▶「アメリカンシエルフ」
- 2F ホール** 「ハリー・ポッターと不思議の国のアリスの世界」(~4月中旬)
- 2F パープルゾーン** 「傍楽ことと生きること~江戸ユートピア」
江戸時代に日本を訪れた外国人から見たライフスタイルを中心に、19世紀のイギリスとの比較、江戸の行商人クイズなどを、楽しい絵、写真等を交えてご紹介。本当の江戸が見えてくる!!
■「さくらさくら」「2014年新規雑誌! 紹介」(三角台) (~4月中旬)
- 3F グリーンゾーン** 「美しい終わり方」
意外にできていない「看取る側」の心構え。人生の最期について、送られる側だけでなく、見送る側の視点からも考える本を集めました。
■「グリーン・イノベーション~環境と持続可能な社会の実現に向けて」

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

日比谷に咲いたタカラヅカの花

東京宝塚劇場 開場80周年 記念特別展

東京宝塚劇場のこけら落とし公演となった「花詩集」▶

1934年、日比谷の一角に日本第一級の大劇場、東京宝塚劇場が開場し、今年で80年を迎えました。宝塚歌劇生みの親の小林一三は開場に際して「我等の初舞台、朗らかに、清く正しく美しく、我等の宝塚こそ大衆芸術の陣営 家庭共楽の殿堂、お、我東京宝塚劇場!」と高らかに表明し、宝塚歌劇を上演して来ましたが、しかし、戦争の激化による休場、戦後のGHQの接収などの苦難の時代を見つめてきた東京宝塚劇場も63年の歴史に幕を閉じます。やがて、新劇場完成までの1000日間の仮設劇場を経て、2011年には新東京宝塚劇場が完成し、東京通年公演が実現します。本展は東京宝塚劇場開場80周年を記念し、その80年の軌跡をポスターや写真などの公演資料で辿ります。

東京宝塚劇場のこけら落とし公演となった「花詩集」▶

1934年、日比谷の一角に日本第一級の大劇場、東京宝塚劇場が開場し、今年で80年を迎えました。宝塚歌劇生みの親の小林一三は開場に際して「我等の初舞台、朗らかに、清く正しく美しく、我等の宝塚こそ大衆芸術の陣営 家庭共楽の殿堂、お、我東京宝塚劇場!」と高らかに表明し、宝塚歌劇を上演して来ましたが、しかし、戦争の激化による休場、戦後のGHQの接収などの苦難の時代を見つめてきた東京宝塚劇場も63年の歴史に幕を閉じます。やがて、新劇場完成までの1000日間の仮設劇場を経て、2011年には新東京宝塚劇場が完成し、東京通年公演が実現します。本展は東京宝塚劇場開場80周年を記念し、その80年の軌跡をポスターや写真などの公演資料で辿ります。

記念講演「私と宝塚」

講師：麻実 れい(元宝塚歌劇団雪組トップスター)、竹下 典子(司会)

- 日時:4月29日(火) 14:00~15:30 (受付開始 13:30~)
- 場所:日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 参加費:1000円(千代田区民の方500円)
- 定員:200名(先着順、定員になり次第締切)

▲申し込み方法:上記いずれも、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp)、来館のうえ1F受付にて▲

ワークショップ「宝塚歌劇の仮面創り」

講師:(株)宝塚舞台 製作スタッフ

- 日時:5月29日(木)
- ①12:45~14:45(受付開始12:30)
- ②15:15~17:15(受付開始15:00)
- 場所:日比谷図書文化館4F スタジオプラス(小ホール)
- 参加費:2500円 ■定員:20名(先着順、定員になり次第締切)

calendar 開館時間:平日10時~22時、土曜10時~19時、日祝10時~17時、休館日

2014年 4月							2014年 5月							
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
			1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10	
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17	
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24	
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31	

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
図書総合カウンター 03-3502-3343 URL:<http://hibiyal.jp>

access

- 東京メトロ
 - 千代田線
 - 日比谷線
 - 丸ノ内線
 - 「霞ヶ関」徒歩5分
 - JR「新橋」徒歩10分
 - 都営地下鉄
 - 三田線
 - 「内幸町」徒歩3分
- 駐車場
当施設に駐車場はございません。公共機関をご利用ください。

4・5月の講座

▶参加申込：電話(03-3502-3340)またはEメール(college@hibiyal.jp)にて、講座名、お名前(よみがな)、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。
千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書文化館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

4/8 (火) 第23回江戸歴史講座 歌川豊春没後200年 幕末浮世絵事情 —歌川派の祖 歌川豊春とその門人たち—

講師：小林 忠 (岡田美術館館長、学習院大学名誉教授、国際浮世絵学会理事長)



歌川豊春「浮絵浪花天満天神夜祭之図」

幕末の浮世絵界は、歌川派の全盛期で、「歌川派にあらずば浮世絵師にあらず」と言われたほどです。その歌川派の開祖歌川豊春は文化11年(1814年)に没しており、本年が没後200年に当たり、その記念の年に、豊春とその門人である豊国と豊広、孫弟子の国貞、国芳、広重らの画業を振り返ります。

- 日時：4月8日(火)19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
 - 定員：200名 ■ 参加費：1000円(千代田区民500円)
- ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

4/8 (火) ほか グローバルビジネスパーソンになるための財務塾 IPO (Initial Public Offering: 株式公開) を理解しよう!

講師：手島 直樹 (経営コンサルタント、インサイトフィナンシャル(株)代表取締役)

アベノミクスによる市況の改善に合わせてIPOを行う企業増加に伴い、IPOをテーマに全2回の講座で取り上げます。第1回目は投資家の視点からどのような企業がIPO後も企業価値を創造し続けているのかを分析し、第2回目は企業経営者はいかに株式市場とつき合っていくべきか、米国のケースも取り上げながら考えます。

- 日時：4月8日(火)第1回「日本のIPO市場を分析する」4月22日(火)第2回「ケーススタディでIPOを学ぶ」いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：40名 ■ 参加費：3000円(2回分)



4/11 (金) ハリー・ポッターと不思議の国のアリスが出逢ったら… 翻訳がつなぐ文化とことば

講師：松岡 佑子 (静山社会長) 安井 泉 (筑波大学名誉教授)

「ハリー・ポッター」を日本に紹介した翻訳者と、ルイス・キャロル協会会長であり「鏡の国のアリス」などを翻訳した英語学・言語文化学者に、翻訳して気づいた言葉の魅力や文化の奥深さについてお話しいただきながら、英語と日本語の「ことばを楽しむ」秘訣を探ります。



- 日時：4月11日(金)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：1000円

4/13 (日) ピースビレッジ 第22回 「ビジョン2020～私たちは東京オリンピックを平和の祭典にすることができるのか?～」

講師：小林 正弥 (千葉大学教授)



日本には、戦争へ突入し1940年の東京五輪を開催できなかった過去があります。民主政治破綻の懸念、東アジア地域の緊張状態など現在の政治状況は当時と酷似しています。現代に生きる私たちは、2020年東京五輪を本当の意味で平和の祭典として開催するために、何を知り、どう考えて行動していけばよいのでしょうか?

- 主催：NPO法人世界連邦21世紀フォーラム
- 日時：4月13日(日)14:00～16:30(13:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：3000円

4/15 (火) 出光美術館 × 日比谷図書文化館 展覧会への入口講座 Vol.7 日本絵画の楽しみ方

講師：黒田 泰三 (出光美術館学芸部長)



出光美術館の日本絵画コレクションの内、鎌倉時代から江戸時代にかけての、絵巻・室町時代水墨画とやまと絵屏風・近世初期風俗画・肉筆浮世絵・文人画・琳派・狩野派・長谷川等伯・仙屋といった分野(作家)から代表作品を厳選して2部構成で開催する「日本絵画の魅惑」展の見どころを、展示作品の解説を中心にお話しします。

- 日時：4月15日(火)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円) ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください

4/16 (水) “もう一歩”踏み出せばクラシック音楽は身近になる ～ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭を前に～

講師：オヤマダアツシ (音楽ライター)



ベートーヴェン、ショパン、ブラームス、チャイコフスキー……。聴いているだけでも楽しめるクラシックをさらに深く味わい、そして人生の友人にする方法とは。高級PCオーディオで名曲を聴きながら「もっとクラシックの魅力に触れたい」という声にお応えします。クラシック初心者の方にもラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭を、より身近に、わかりやすくお楽しみいただける講座です。(協力：東京国際フォーラム/ラックスマン/フォステクス/ナクソス・ジャパン)

- 日時：4月16日(水)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：地下1階日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名 ■ 参加費：500円

5/9 (金) プリヂストン美術館 × 日比谷図書文化館 展覧会への入口講座Vol.8 描かれたチャイナドレス

講師：貝塚 健 (プリヂストン美術館学芸部長)



プリヂストン美術館で開催する「描かれたチャイナドレス」展に関連した講座です。大正時代、日本での中国趣味を背景に、藤島武二や梅原龍三郎らによって中国服の女性像が描かれました。日本人洋画家がヨーロッパから学んだ油彩技法によってアジアとどのように向き合ったのか。成熟していく日本洋画のようすをご紹介します。

- 日時：5月9日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名
- 参加費：1000円(千代田区民500円)※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

藤島武二「女の横顔」1926-27年ポーラ美術館蔵

5/30 (金) 日比谷コトづくり塾第7回 「食」で地域を元気にする ～食を通じて地域の伝統・文化の継承～

講師：南 学 (東洋大学大学院経済研究科客員教授)



「食」で地域を元気にする～食を通じて地域の伝統・文化の継承～をテーマにパネルディスカッションを開催。パネラーは食を通じてのまちづくりを実施している自治体、積極的に食育活動を取組まれている企業を予定。コーディネーターは南学氏。(主催：一般社団法人 日本経営協会)

- 日時：5月30日(金)13:30～16:30(13:00より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：5400円

5/16 (金) 千代田区民講座 日本は海洋資源の宝の山

講師：小原 英樹 (パートナーズ不動産コンサルタント株式会社代表取締役)

日本の国土面積の世界順位は第62位ですが、領海の世界順位は第6位で、我が国は世界有数の海洋大国と言えます。原油や天然ガスをはじめ、最近よく耳にするメタンハイドレートやレアメタルなどの豊富な資源があり、さらに、風力・バイオマスなどのエネルギーは無量大とも言われています。将来的に大きな力となる日本の海洋資源について、永年研究されてきた講師の小原氏から、海外業務経験や様々な資料・研究データを駆使してお話いただきます。(主催：NPO法人 神田雑学大学)

- 日時：5月16日(金)19:00～20:30(18:30より受付)
 - 会場：4階 スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料
- ※4月20日(日)から千代田区民先行受付開始。区民以外は27日(日)から受付開始。

5/20 (火) これだけは知っておきたい 中国経済の現在・未来(全2回) 第1回「中国の成長要因と不安要素」 第2回「中国を動かす国家と大衆資本家たち」

講師：丸川 知雄 (東京大学社会科学研究所教授)



2010年に国内総生産(GDP)が日本を抜き、2030年までにはアメリカを抜き世界第1位の経済大国になるといわれる中国。中国企業の現場を見つめながら研究を続けてきた講師がダイナミックに発展する中国の現状と将来を多面的に分析するとともに、その成長が持続可能かどうかを2回にわたって語ります。

- 日時：第1回5月20日(火)、第2回6月3日(火)いずれも19:00～20:30(18:30より受付)
- 会場：4階 スタジオプラス(小ホール)
- 定員：60名 ■ 参加費：2500円(全2回分)

5/21 (水) 星のソムリエ®と四季の星座めぐり -春-

講師：皆川 敏春 (星のソムリエ®国立科学博物館天体観望会ボランティアスタッフ)



かつて、私たちの祖先が神秘的な夜の世界に畏怖を感じ、星空に興味を持ったことから始まった果てしない宇宙への道のり。そうした人類最初の好奇心を、星座の世界から感じてみませんか? 都会の夜空でもきつと見つける春の星座たち。代表的な星の名前、星座にまつわる神話の世界を、星のソムリエ®皆川敏春氏にお話しいただきます。

- 日時：5月21日(水)19:00～21:00(18:30より受付)
- 会場：4階スタジオプラス(小ホール) ■ 定員：60名 ■ 参加費：1000円

皆川敏春氏撮影 北斗七星

こどもの読書週間 in 千代田区立図書館
ヨムキクちよだ 2014 <イベントのご案内>
親子の絆を深める絵本の力
—ビジネスパーソンのための読み聞かせ講座—
講師：児玉 ひろ美 (JPIC読書アドバイザー、台東区立中央図書館非常勤司書)
親子の心を繋ぎ、絆を深める「読み聞かせ」で大切なのは、量より質。本講座では読み聞かせのコツ、年齢にあった本の選び方を中心に、子どもに読み聞かせたい基本的な絵本とイマドキのお薦め絵本も紹介します。
■ 日時：5月8日(木)19:00～20:30(18:30より受付)
■ 会場：日比谷図書文化館 4階 スタジオプラス(小ホール)
■ 定員：60名 ■ 参加費：無料
● 4/23(水)～5/12(月) 展示「うたう絵本 かなでる絵本」：千代田図書館
● 4/23(水)～5/12(月) おはなしに会えるパン屋さん 2014：千代田区役所1階さくらベーカーリー
● 4/25(金)ほか こどもの読書週間スペシャルおはなし会：四番町図書館
● 4/26(土)、5/10(土) パパのための読み聞かせ講座：四番町図書館
● 5/10(土) ふしぎな楽器「ストリングラフィ」コンサート：千代田区役所1階 区民ホール
詳しくは千代田図書館のHPをご覧ください(4/1より) ▶ <http://www.library.chiyoda.tokyo.jp/>

特別研究室 ミニ通信
■ 特別研究室 企画展示
「旅行案内いま・むかし」 4月1日(火)～5月18日(日)
—100年前の人たちはこんな旅をしていた— 第1部国内編
「東京駅から始まる鉄道の旅」
今からちょうど100年前の1914年、東京駅が開業し、鉄道の旅の時代が到来しました。この頃の人々はどこへ行き、どのような旅を楽しんでいたのでしょうか。それらを窺い知ることでできる資料が特別研究室の蔵書からたくさん見つかりました。往時の旅行案内や路線図、紀行などで100年前の鉄道旅行をお楽しみください。
伊香保石段街(高橋信雄「伊香保案内」温泉の日本社/1926年)

■ 特別研究室 スポット展示
「時代を映す広告」
特別研究室の蔵書の中から、目を引く広告が掲載された本を紹介するコーナーをつくりました。ビジュアルが美しい広告、今も続く企業の広告、今はない製品・業種の広告、文言の面白い広告など戦前に制作された広告を不定期で展示替えをしてご紹介します。図書フロア展示「広告は時代を変える」(2階オレンジゾーン、3階ホール ガラスケース)とあわせてご覧ください。

■ 特別研究室からのお知らせ
4月1日より特別研究室の
開室時間・利用形態が変わります
平日は20時まで開室
特別研究室は4月1日より平日の開室時間を20時までとし、特別研究席もこの時間までご利用いただけます。また、特別研究席は平日10時から12時までを特別研究席の利用者同士で本を通じた交流や勉強会、セミナー等も開催できる時間とします。これまで通りお一人でもご利用になれます。

3月31日 まで	平日・土曜 ▶ 10:00～18:00	4月1日 から	平日 ▶ 10:00～20:00
	日曜・祝日 ▶ 10:00～16:00		土曜 ▶ 10:00～18:00

より利用しやすくなった特別研究室をこれからもぜひご活用ください。お問い合わせ等は特別研究室(03-3502-3340/内線429)までお願いいたします。

コンシェルジュより
春になり可憐にはかなく美しく花を咲かせる桜に心を奪われる方は多くいらっしゃるのではないでしょうか。千代田区には千鳥ヶ淵など名所が多く、区の花にも制定されています。桜の種類は数百種類にもものぼるといわれていますが、千代田区の桜の大半は生粋の江戸っ子桜「染井吉野」です。日比谷図書文化館ではコンシェルジュカウンターにて千代田区の「さくらまつり」の冊子、日比谷公園や館内で楽しめる桜の情報を提供いたします。また、1階ホールでは江戸市中や近郊の桜名所が描かれた歌川広重の『名所江戸百景』(共同通信社/1971年)を展示しています。是非、ご覧いただき春の訪れを感じてください。(4月中旬頃まで)